

補助事業の目的、内容及び計画

1 事業目的

目的と 期待する効果	<p>(メニュー番号が複数ある場合は、メニュー番号ごとに記入ください)</p> <p>～記載例を参考に①～④の事項を記載してください～</p> <p>【A-1】地場産品の活用(伝統産業製品、市内産木材)</p> <p>【①現状の取組】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当旅館・ホテルでは、伝統とデザインの融合した京都の魅力を体感できる空間演出をコンセプトとしている。近年では、空間演出に加え、定期的に職人による伝統産業製品の実演や小規模なワークショップの開催等、体験機会の創出にも取り組んでいる。 <p>【②補助対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「体験機会の創出」の一環として、本事業を活用して、客室のコンセプトに合致する「京焼・清水焼」の茶器セットを導入する。 <p>【③補助対象事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 当旅館・ホテルの伝統とデザインの融合した京都の魅力を体感できる空間に加え、客室での茶器セットの導入により、伝統産業製品の歴史等、京都の魅力をストーリー性を持って伝えていく。さらには、宿泊客が茶器セットを実際に手に取り、触れることでその魅力を体感する機会を創出する。 <p>【④期待する効果】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 宿泊客が、京都の魅力を体感、体験できる場として、宿泊客の満足度が向上する。さらには、体験をきっかけに京都の伝統工芸品に関心を持つとともに、京都のほんまものの魅力を感じ、「また京都を訪れよう」、「また当旅館、ホテルに宿泊しよう」とリピーターの確保にもつなげていきたい。
---------------	---